

教育相談

—第12回—

不登校

新島学園短期大学
櫻本 和也

★前回の振り返り☆

-
- 人間の本質的部分や群集心理の観点からいじめが発生する要因について学習した
 - いじめの構造を理解したうえでの対応について自分の言葉で説明できる

☆今回のポイント・到達目標！☆

- 教育現場が抱える課題について、その理由と背景を把握した上で、現場での実践を想定して説明できる

学校心理学とは??

児童生徒や学生の学習面や適応面に焦点を当て、
学校教育場面において心理学上の専門的な援助を
行う実践体系を支える領域

- 発達上の諸問題（種々の発達障害 など）
- 適応上の諸問題（いじめ，不登校，虐待 など）

教育心理学と学校心理学

教育心理学

教育課程における心の働きを心理学的に分析、
理解することで一般的な法則性を明らかにする

学校心理学

生徒や学生が直面している問題を学校・家庭
・社会で支援し，問題解決に役立たせる研究
・教育を実践する

発達障害といじめ

- 教育現場における発達障害の在り方
(学習不振は怠けが原因！？)

 特別支援教育で取り扱う

- いじめと不登校の背景・対応

不登校とは

- 何らかの心理的、情緒的要因、身体的あるいは社会的要因・背景により登校しない、あるいはしたくともできない状況下にあり、年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いた者

不登校とは

- 30日以上にわたり欠席
- 病気や経済的な理由は該当しない



不登校の要因別の理解と対応

本人の
要因

家族の
要因

学校の
要因

社会の
要因

本人の要因

- 学力不振(小1プロブレム・9歳の壁)
- 人間関係(友人・教職員)のトラブル
- 発達障害による二次障害
- 入学や転校による環境の変化
- 神経症的傾向などの性格傾向

本人の要因への対応

- きっかけが明確な場合が多い
- 本人も自覚しているケース



「早期」かつ「的確」に対応

家族の要因

-
- 子どもが示す不適応に対する援助機能の弱さ
親の養育態度（無関心、拒否的 or 過干渉）
 - 子どもの性格傾向を助長する養育態度

家族の要因への対応

- アンヴィバレントな関係性からの脱却
- 意欲・興味を高める体験の不足
- やりがいや自己表現の機会をもたせる

学校の要因

- いじめや非行など全般的な問題が増加傾向にある
- 教師の多忙化傾向による指導の問題

学校の要因への対応

- いじめや非行の背景にある加害者の不安全感
- 反社会的問題行動の一方で交流を求める
- 学校を含め本人たちの居場所づくりを進める
- 教員と生徒ではなく一人の人間同士としての関わりがベースとなる

社会の要因

- 学歴社会, 受験戦争に代表する教育価値
学力不振に陥った場合、自己肯定感に打撃
学校で勉強することに意義を認めない
- 少子化に伴う集団関係の希薄化
共同生活の体験が希薄。結果, 小学校など集団
での生活に戸惑う

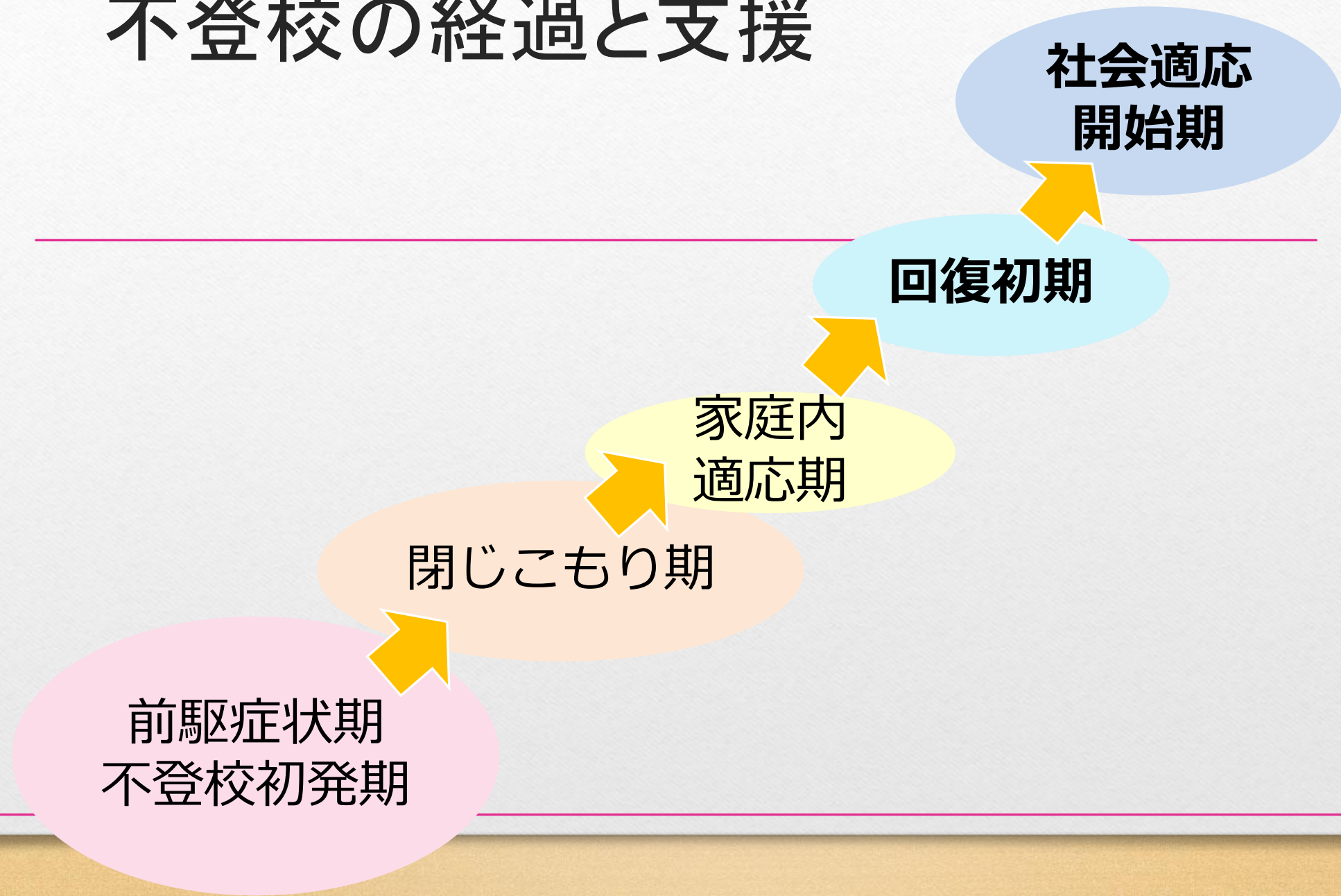
社会の要因への対応

- 人間形成の観点から学校教育の重要性を促す
- 共同スペースで集団生活の下地を準備
子育て支援拠点や児童館型などコミュニティとの連携

治療的側面

- 行動療法など専門的なカウンセリングを実施
- 家族側の要因がある場合、保護者を対象としてカウンセリングを実施
- 再登校に備えて学校側と受け入れ体制を整備

不登校の経過と支援



前駆症状期・不登校初発期

- 外から見える変化が生じる段階

朝：身体症状を訴え登校を渋る

昼：元気がなく保健室に行く頻度が増加

夜：イライラ, 疲れた様子, 友人関係の変化

- 休日明けに身体症状を訴え, 登校しにくくなる



変化を感じ取り早期介入が必要！

閉じこもり期

- 連続して学校を休むようになる
- 部屋に閉じこもり昼夜逆転の生活へと移行
- 家庭内暴力に発展！？
(登校刺激による)



子どもの力を信じ内的適応過程を見守る

家庭内適応期

- 自室から出て家族との交流を取り始める
 - 不登校状態の受け容れ
-



見離すことなく見守り続けてきてくれた
姿勢により次の展開へ拓ける

回復初期

- 規則正しい生活ができるようになる
 - 学校の話題や友人の状況が気になりはじめる
-



再登校への環境整備をすることが必要な時期！

社会適応開始期

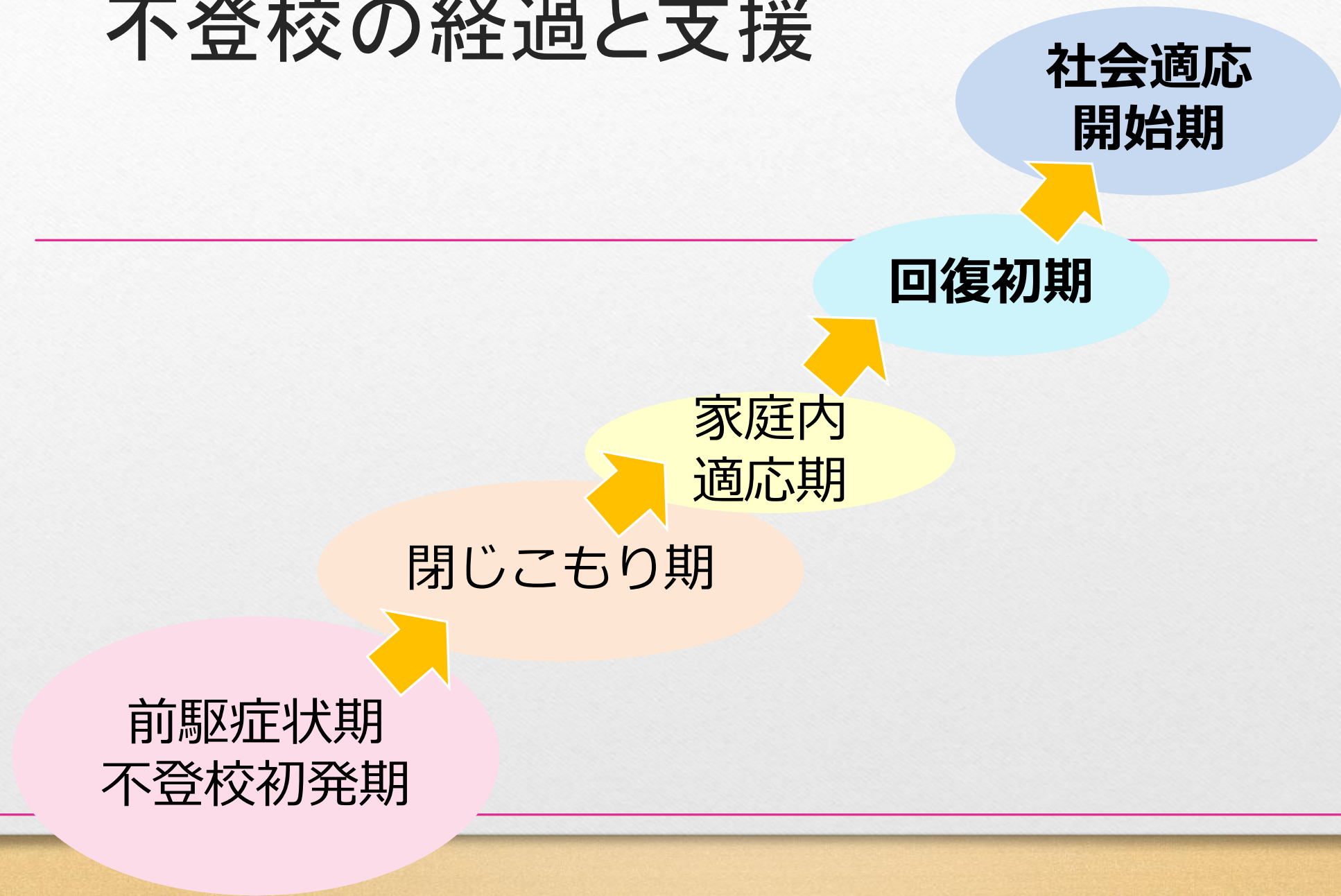
- 家庭の中から外へ出て、社会との交流を持つようになる
- 保健室登校や放課後登校、通常の登校ができるようになる



自らの「居場所」を感じられる環境を整える



不登校の経過と支援



不登校の理解と対応

ケーススタディ

ケース①

➤ 年 齢: 13歳

➤ 性 別: 男性

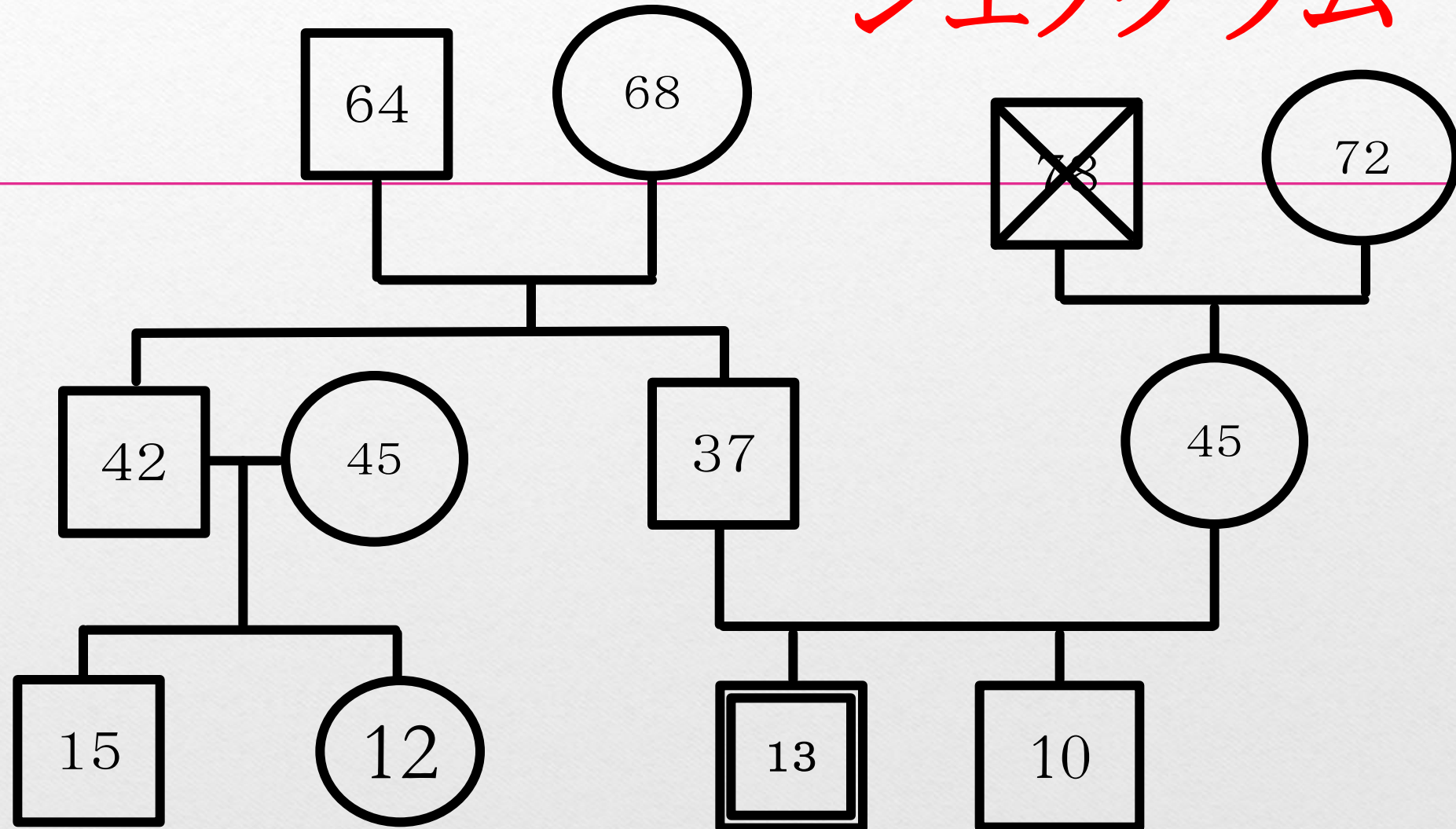
➤ 所 属: 中学生

➤ 家族構成: 拡大家族⇒核家族

➤ 趣 味: 音楽, パソコン, カルタ

男子中学生の家族構成

ジェノグラム



ケーススタディ！！

✓ A君の生き辛さとは？

✓ A君は何を求めていたのか？



Aくんの生き辛さとは？また、彼は何を求めていたのだろうか？

不登校の要因別の理解と対応

本人の
要因

家族の
要因

学校の
要因

社会の
要因

本人の要因

- グループワーク・ディスカッション

家族の要因

- グループワーク・ディスカッション

学校の要因

- グループワーク・ディスカッション

社会の要因

- グループワーク・ディスカッション

保護者に対する支援

- 子どもへ抱く不安と同時に、保護者も大きな不安を抱く
- 学校と保護者がつながり、両者が同じ方向を向いて連携・協力していくことが不可欠

☆今日の振り返り☆

- 子どもが必要としている支援を感じ取ることが肝要
- 児童・生徒の思い，保護者の思いを理解しながら支えることが必須